

核融合炉はしばしば「嵐の中で火を灯し続けること」に例えられますが、その難しさの大きな要因が、プラズマ乱流の複雑で予測しにくい振る舞いです。

講演では核融合とプラズマ乱流の関係について概説し、最近の研究課題を説明します。

核融合発電への挑戦 — プラズマ乱流 —

Lecture series

- 研究の最先端 -

no.166

レクチャーシリーズでは、様々な分野で活躍する研究者にご講演いただいています。

2025年度は、3名の先生方に研究の面白さや可能性についてお話を伺います。

一緒に研究の世界へ。
中高生も大歓迎です。



アクセス

京阪電車「出町柳駅」より
徒歩約15分。
市バス停留所「百万遍」より
徒歩約2分。

※駐車場がありませんので、
公共交通機関をご利用ください。

2025.11.08 sat.
10:30~12:00

金 史良

京都大学エネルギー理工学研究所



<先生からのメッセージ>

「乱流」は身近にある現象ですが、その複雑さゆえに現代物理でも予測が困難です。核融合研究でも大きな課題でありつつ、その多様で興味深いダイナミクスの魅力をお伝えできればと思います。

<会場>

ミュージラボ（総合博物館1階 自然史展示室内）

<申し込み>

不要です。直接博物館へお越しください。

※ 満席の場合はご参加いただけないことがありますのでご了承ください

<参加費>

無料です。（ただし入館の際に博物館の観覧料が必要です。）



<お問い合わせ>

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

tel 075-753-3272 E-mail info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

URL <https://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

背景画像：磁場閉じ込めプラズマ実験装置 Heliotron J

中央画像：プラズマ乱流計測のためのマイクロ波機器の調整